

安全データシート

ページ: 1/10

BASF 3D Printing 安全データシート

日付 / 改訂: 16. 04. 2020

製品: 000000944995 / Ultrafuse PPSU

バージョン: 2.0

(944995/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日 17.04.2020

1. 製品及び会社情報

000000944995

Ultrafuse PPSU

推奨用途: 3D印刷, 工業的用途のみに使用のこと。

会社名:

BASF 3D Printing Solutions B.V.

Eerste Bokslootweg 17

7821 AT Emmen, Netherlands

電話番号: + 31 591 820 389

FAX番号: +31 (0)6 53 49 74 35

Eメールアドレス: sales@basf-3dps.com

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】:

本製品は、GHS分類基準に該当しない。

【GHSラベル要素】:

本製品は、GHS基準により有害性警告表示を必要としない。

他の危険有害性:

BASF 3D Printing 安全データシート
日付 / 改訂: 16. 04. 2020
製品: 000000944995 / Ultrafuse PPSU

バージョン: 2.0

(944995/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日 17.04.2020

この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性があるGHS分類以外の危険性に関するものである。

3. 組成及び成分情報

化学特性

単一製品・混合物の区別: 単一製品

記載の物質に基づくポリマー:

1, 1'-スルホニルジ(4-クロロベンゼン)・4, 4'-ビフェニルジオール重縮合物

CAS番号: 25608-64-4

化審法番号: (7)-2492

労働安全衛生法: 10-1148

4. 応急措置

[一般的なアドバイス]:

汚れた衣服は取り替える。

[吸入した場合]:

新鮮な空気の場所に移動させ、安静にすること。必要に応じて呼吸補助具を使用する。症状が続くようであれば、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:

石鹼と水で完全に洗い流すこと。溶融物による熱傷については、医師の診察を受けること。刺激が続くようであれば、医師の診察を受けること。

[眼に入った場合]:

眼に入った場合、大量の水で15分以上洗い流すこと。刺激が続くようであれば、医師の診察を受けること。

[飲み込んだ場合]:

安静にし、新鮮な空気の場所に移動させること。直ちに医師の診察を受けること。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: (他の)症状や影響については現時点で知られていない。

危険有害事項: 意図された用途と適切な取り扱いをすれば、危険性はないと考えられる。

処置: 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

噴霧水, 泡, 粉末

BASF 3D Printing 安全データシート
日付 / 改訂: 16. 04. 2020
製品: 000000944995 / Ultrafuse PPSU

バージョン: 2.0

(944995/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日 17.04.2020

[特有の危険有害性]:

| 炭素酸化物

| 火災の場合、前述の物質／物質グループが放出される可能性がある。

[消火を行う者の保護具]:

| 自給式呼吸器を着用のこと。

[追加情報]:

| 汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項]:

| 注意事項は特になし。

[環境に対する注意事項]:

| 環境への流出を避けること。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

| 少量の場合: 掃き集めるかすくい取る。

| 大量の場合: 掃き集めるかすくい取る。漏洩物を吸引する。

| もし可能ならば、製造に再利用する。十分な換気を確保すること。粉塵を発生させないこと。

[追加情報]: 空気中に埃をまき散らすことを避ける(例: 圧縮空気です埃の面をクリーニングする)。粉塵の生成と蓄積を避けること—粉塵爆発の危険性。粉塵の濃度が十分になると、空気中に爆発性混合物が発生する可能性がある。散粉が最小限となるように取扱い、直火及び他の発火源を除くこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

| 粉塵／ミスト／蒸気を吸入しない。十分な換気を確保すること。乾燥工程及び加工機器の溶解物流出口周辺では適切な換気を行うこと。着火源から離して保管すること—禁煙。静電気放電に対する予防措置を講ずること。粉塵の発生および堆積を防ぐこと。

安全取扱注意事項:

| 本製品は燃焼拡大の原因にはならず、自己燃焼性もないし、爆発性もない。粉塵を発生させない。粉塵の濃度が十分になると、空気中に爆発性混合物が発生する可能性がある。散粉が最小限となるように取扱い、直火及び他の発火源を除くこと。

[保管]

| 保管条件に関する追加情報: 凍結に敏感 粉塵の堆積を防ぐこと。熱から離して保管すること。

保管安定性:

| 湿気を避ける。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

職業暴露限度は、不明である。

【保護具】

[呼吸用保護具]:

呼吸保護具（もしエアゾール/粉塵が発生した場合）呼吸保護具（換気の悪い場合）固体微粒子および液体微粒子に対して中程度の有効性を示す粒子フィルタ。（例：EN 143 P2型もしくはEN 149 FFP2型）。

[手の保護具]:

熱い溶融物を大量に扱う場合（繊維又は皮革など）、耐熱手袋も使用すること（EN407）。

[眼の保護具]:

サイドシールド付き安全眼鏡（フレームゴーグル）（例 EN 166）

[皮膚及び身体の保護具]:

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等（飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。）。

[一般的な安全及び衛生対策]:

機械処理および/又は熱溶解状態の間、接触を防止するために保護衣を着用する。作業服は、他の物と分けて保管すること。作業後に手洗い、洗眼をする。

9. 物理的及び化学的性質

形状: 繊維状
色: 透明な黄色
臭い: 無臭
臭いのしきい値: 測定されていない。

pH: 不溶

ガラス転移温度: 220 ° C
(1,013 hPa)

沸点範囲: (1,013 hPa)
物質が分解するため、測定不能。

引火点: 適用せず

蒸発率:	この製品は、不揮発性固体である。
燃焼性 (固体/ガス):	引火性ではない。
爆発範囲の下限:	分類と表示に関係しない固体用に関するものである。
爆発範囲の上限:	分類と表示に関係しない固体用に関するものである。
発火温度:	適用せず
熱分解:	通常の手扱い条件下で危険分解物なし。長時間にわたり加熱すると、分解物が発生する可能性がある。
自己発火性:	自己発火性なし。
自己発熱性:	自己発熱性物質ではない。
爆発危険有害事項:	爆発性なし。
火災を引き起こす性質:	火災伝播性はない。
蒸気圧:	適用せず
相対密度:	データなし。
相対蒸気密度 (空気) :	この製品は、不揮発性固体である。
水に対する溶解性:	不溶
湿度測定:	非吸湿性
溶解度 (定量的) :	不溶
n - オクタノール/水分配係数 (log Pow) :	試験の実施は、必要ない。
粘度:	試験の実施は、必要ない。

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:

静電気防止措置をとる。粉塵を発生させない。粉塵の堆積を防ぐこと。

熱分解: 通常の取扱い条件下で危険分解物なし。長時間にわたり加熱すると、分解物が発生する可能性がある。

[混触危険物質]:
避けるべき物質はなし。

[危険有害な分解生成物]:
通常の取扱い条件下で危険反応なし。

熱分解物:
長時間にわたり加熱すると、分解物が発生する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性の評価:
溶融物に接触すると、熱傷になることがある。

実験または計算によるデータ:
LD50 (半数致死量) ラット (経口): > 2,000 mg/kg
本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

LC50 (半数致死濃度) (吸入による):
測定されていない。

LD50 (半数致死量) (経皮):
測定されていない。

刺激性

刺激性作用の評価:
意図的な使用と適切な取扱をすれば、刺激性はないと考えられる。

実験または計算によるデータ:
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 ウサギ: 刺激性なし (OECDテストガイドライン404)
本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 ウサギ: 刺激性なし (OECDテストガイドライン405)
本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:
物質は、不活性である。

化学構造は感作作用を示唆していない。

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:
物質は、不活性である。

変異原性に関するデータはなし。化学構造から、そのような有害作用はないことが示唆される。

発がん性

発がん性の評価:
物質は、不活性である。

発癌作用に関するデータはなし。化学構造から、そのような有害作用はないことが示唆される。

生殖毒性

生殖毒性の評価:
物質は、不活性である。

化学構造から、そのような有害作用はないことが示唆される。

発生毒性

催奇形性の評価:
物質は、不活性である。

発生毒性に関するデータなし。化学構造から、そのような有害作用はないことが示唆される。

特定標的臓器毒性、単回ばく露:

単回暴露評価:
利用できる情報に基づくと、単回ばく露後に予測される特定標的臓器毒性はない。

注意: 本品は未試験である。記述は、本品の構造に基づくものである。

反復投与毒性と特定標的臓器毒性、反復ばく露

反復投与毒性の評価:
物質は、不活性である。

吸引性呼吸器有害性

予測される吸入危険性はない。

その他該当する毒性情報

| 本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

12. 環境影響情報

環境毒性

水生生物に対する毒性の評価:
水生生物に対して急性の有害性はほとんどないと考えられる。

魚類に対する毒性:
LC50 (半数致死濃度) (96 h) > 100 mg/l, 魚
本品は未試験である。記述は、本品の構造に基づくものである。

水生無脊椎動物:
LC50 (半数致死濃度) (48 h), ミジンコ属
測定されていない。

水生植物:
EC50 (72 h), 藻類
測定されていない。

微生物/活性汚泥への影響:
EC50 (0.5 h), バクテリア
測定されていない。

魚類に対する慢性毒性:
データなし。

水生無脊椎動物に対する慢性毒性:
データなし。

陸生生物に対する毒性の評価:
陸生生物に対する毒性についてのデータは得られていない。

移動性

環境区分間の輸送評価:
試験は、科学的に正当化されていない。

残留性・分解性

生分解性及び除去率の評価 (水中環境):
実験によると、本品は不活性であり、非分解性である。

生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:
環境への流出を避けること。

BASF 3D Printing 安全データシート
日付 / 改訂: 16. 04. 2020
製品: 000000944995 / Ultrafuse PPSU

バージョン: 2.0

(944995/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日 17.04.2020

生体蓄積性:

本品の安定性と水に対する不溶性のため、生物への悪影響は考えにくい。

[追加情報]

環境面での最終到達点及び経路に関する追加説明:

本品の安定性と水に対する不溶性のため、現在までの知見によると環境への悪影響は考えにくい。

13. 廃棄上の注意

国内の法令に従い廃棄するか焼却すること。

[汚染された容器]:

汚染されていない容器は再利用できる。

汚染された容器は製品と同様に廃棄する。

14. 輸送上の注意**国際陸上輸送:**

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

海上輸送

IMDG

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

Sea transport

IMDG

Not classified as a dangerous good under transport regulations

航空輸送

IATA/ICAO

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

Air transport

IATA/ICAO

Not classified as a dangerous good under transport regulations

15. 適用法令

消防法: 非危険物

その他の規則

16. その他の情報

他の用途については、製造業者に問い合わせること。対応する職場作業員保護措置に従うこと。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。